

## 第3回懇話会における意見・要望のプラン見直しへの反映について（事務局案）

### 1 プランにおける施策の方向性の基本的考え方

～平成28年度 第1回 「北九州市特別支援教育の在り方検討会議」の会議録から抜粋～

**構成員** このプラン案の内容を見ると、かなり大きな方向性が記載されているようだが、プラン案は、予算交渉を伴うような個別具体の事業について列挙するものではないという理解でよいか。

**事務局** ご指摘のとおり、このプラン案については10年後を見据えた大きな方向性を示すものであり、これから実施する施策等につながる大きな考え方を示すものである。～ 特別支援教育という観点に基づくことから、全ての子どもたちのことを全部書くというのもなかなか難しい。また、乳幼児期から就労の話まで意識しながら書いているものの、その中心はどうしても学校教育になってしまふことについてもご理解いただきたい。

### 2 プラン見直しに係る第3回懇話会の意見反映の方向性

項目	見直し案に関する検討の方向性	対応
a	幼児教育センターの設置に向けて、具体的な構想を立てていきますというような文言を追加しており、この文章であると、設置が未決事項であり、今後の設置に向けた構想段階にあるように読み取れるため、工夫してほしい。（プ P21 1-(1)-3）	②
b	医療的ケア児の支援の体制構築のところ、送迎については、運転手と同乗者というように、明確にした方が良いのでは。保護者の付き添いの機会の削減に努めるからには、送迎のところの充実が大事である。（プ P24 1-(2)-8）	—
c	専門家との連携体制の箇所、具体的に臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士等の専門家が入ったのは良い。福祉の専門家である、精神保健福祉士とか、社会福祉士なども加えた方が良いのではないかと。発達障害とか精神障害の方々に対してはその専門性が、重要になってくるので。（プ P33）	②
d	就労支援等の充実ということが書かれているが、北九州市には、しごとサポートセンターがある。そこを活用していくということも、重要だと思う。しごとサポートセンターは、就労支援・生活支援という、非常に充実した仕組みを作っているのだから、そういったところとの連携も入れられた方が、学校の先生方も具体的に動きやすくなるのではないかと。思う。（プ P41 4-(1)-3）	③

項目	見直し案に関する検討の方向性	対応
e	進路指導の役割というものを、強化したような感じで、明記していただけると、私たち保護者は、長い成人期に向けての、教育というものに関しての期待をしているので、よろしく願います。(プ P24~25 1-(5)-1)	①
f	小池特別支援学校の、就労支援のところ、ここがセンター的な機能を強化するように、文章としては見えてしまった。(プ P45)	②
g	いろいろ表とかが入っているが、過去の障害児・者の実態調査とかは、4年ぐらいごとでやっているとされるので、新しい資料が随時入ってくるという理解でよいか。(資料編)	②
h	新しい用語や、特別支援などでしか使わない用語や教育の用語も少し変わってきているような気がするので、ぜひそういった説明も、併せてお願いしたい。(資料編)	②
i	今、教育推進プランなので、もちろん学校に在る間のことが重点的に書かれているのだが、その後が、ぷつんと切れているような感じがどうしてもしてしまう。やはり福祉との連携という面を、もう少し強く入れていただけると、この先も、きちんと福祉が繋がって生きていくというのが分かりやすく、また、これを見た先生方にも、教育委員会だけではなくて、きちんと福祉、保健福祉局などと繋がっていくということを理解していただけるのではないかと(プ P24~25 1-(5)-1)	①
j	学びの場の整備に努めてきたと結んでいるが、例えば、その後にはこのことは、「自立活動の指導の担い手の拡大を意味する」、こういった文章を一つ加えていただけると、以下に小中学校の先生方の「専門性の向上」という文章があるが、「専門性の中核」を北九州市としてどのように捉え、目指しているのか、読み取りやすいのではないかと(プ P9 (3))	②
k	特別支援学校においては、各教科等を合わせた指導として作業学習を実施しています、とあるが、「各教科の指導」と書くよりは、「教科別の指導」と書いた方が、誤解がないかなと思う。つまり、作業学習の説明文で、括弧書きの中に、各教科の目標・内容を合わせた指導とあるように、こちらも各教科等の学びの成立を図るわけなので、教科別の指導と合わせてという表現の方が良いと思う。(プ P25 1-(5)-2)	②
l	インクルーシブ教育が進む中で、今年度、卒園した子どもたちも、多くの子どもたちが、主に情緒の子どもたちが、通常の学級スタートになっているという現状を、多くの保護者から聞いた。やはりインクルーシブ教育の流れというところで、さらなる先生方の専門性が要求されるのではないかと。(プ P35 3-(1)-1)	①

- ※ 対応 ① : 現行プランの内容で具体的に対応できるもの。  
② : 現行プランの修正等が必要なもの。  
③ : 新たな項目を追加する必要があるもの。  
— : 貴重なご意見としてお伺いします。

### 3 教育委員会として意見をいただきたい項目

- (1) パブリックコメントを受けた対応について
- (2) プラン最終案について
- (3) 次回改定時期について